

宝塚市議会 議会報告会

令和8年第1回（3月）定例会

予算特別委員会報告

報告者：予算特別委員会委員 寺本 早苗

01 令和8年度予算の概要

● 審査日程 令和8年3月12、13日、16～18日（5日間）

● 付託議案

令和8年度宝塚市一般会計予算

令和8年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費予算

令和8年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費予算

令和8年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費予算

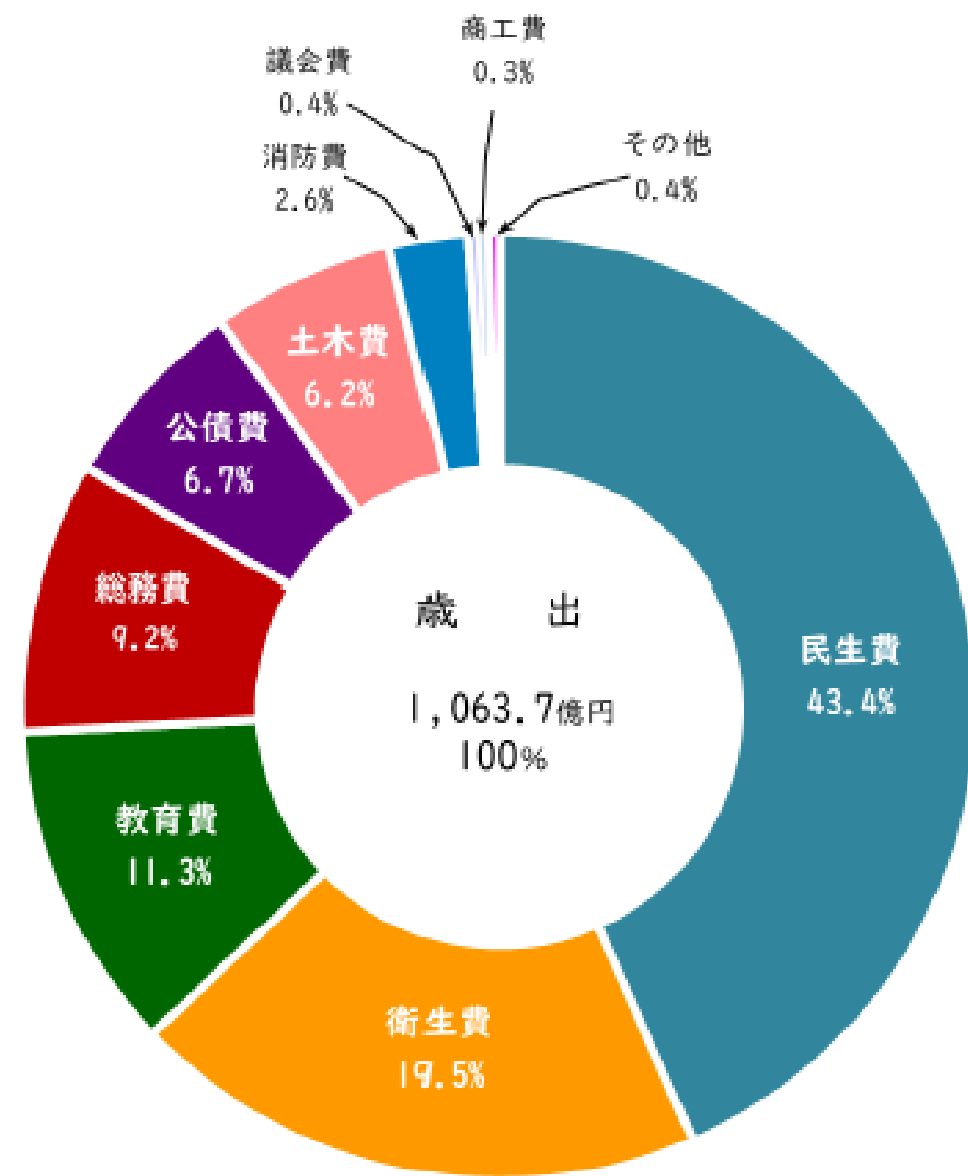
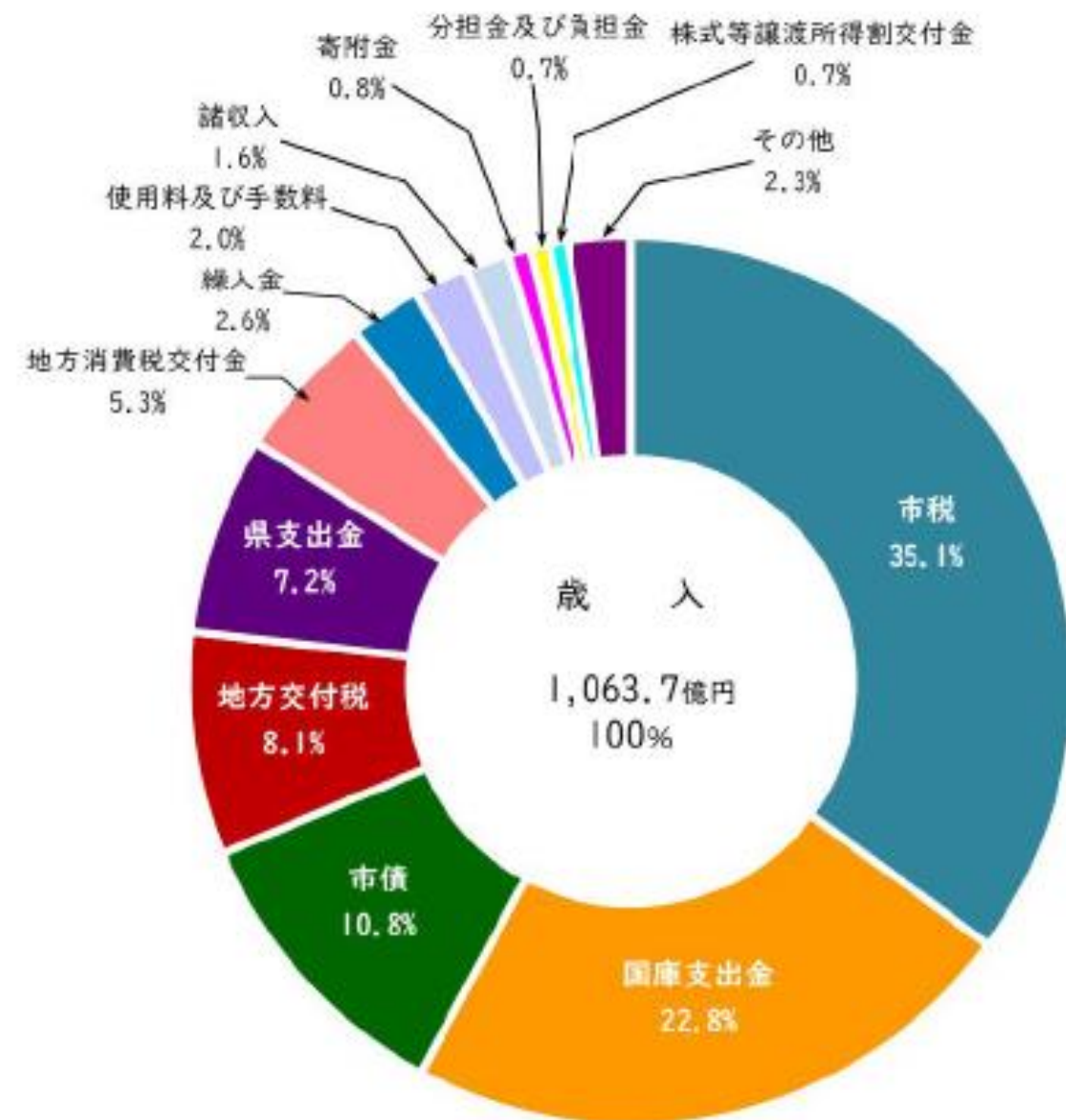
令和8年度宝塚市特別会計介護保険事業費予算

令和8年度宝塚市特別会計財産区予算

令和8年度宝塚市特別会計宝塚市営霊園事業費予算

（計7件）

02 令和8年度予算の構成



03 令和8年度一般会計予算の特徴

- 予算規模は歳入歳出ともに **1063億7000万円**
(**過去最大規模** 対前年度比109億2000万円増)
- 大型事業(新ごみ処理施設整備の工事費など)約122億3000万円
- 小中学校の給食費の負担軽減 6億4000万円
放課後児童クラブの新設 4400万円
公共施設維持管理の業務委託 3億5400万円
西谷地区での交通手段確保 4000万円 ほか
- 財政調整基金 **とりくずし21億円** (残額約36億円)
- 森市長が初めて組む **「種まき予算」**

04 主な質疑（総務費）



【地域公共交通検討事業（バス）】

- 西谷地区の阪急バス路線廃止
新たな事業者による試験運行4000万円
アンケート回収率がわずか14%。ニーズはあるのか
⇒住民の利用が大前提。市、地域関係者から伝えていく
- 仁川循環線のバス購入助成73万4000円
⇒3台すべて更新
(@2067万円×3－国補助1800万円)をR8～13に分割して支払う
- 売布山手地域の車両も更新時期
⇒AIを活用したオンデマンドバスの実証実験の検証結果を待つ

05

主な質疑（民生費）

- **思春期ひろば事業**（不登校・引きこもり当事者の居場所づくり）
利用者の半数以上が市外住民
⇒事業内容の見直しを検討し、新規利用者の受入れを市民に限定
- **民間放課後児童クラブに営利企業の参入を認める**
⇒待機児童対策パッケージとして、多様な選択を可能に
- **総合福祉センターに加え、新たな福祉拠点を整備**
⇒売布東の町エリアは「市民の力で福祉を推進」との理念で整備
総量規制の観点から、総合福祉センターの今後は課題

06

主な質疑（衛生費）

【新ごみ処理施設整備事業】

新ごみ処理施設整備工事費	約 1 2 1 億 8 4 0 0 万円
新ごみ処理施設運営委託料	約 2 億 2 3 0 0 万円
設計施工監理業務委託料	約 4 2 0 0 万円

- 設計が仕上がった後にバリューエンジニアリング（VE）をするのか
⇒本事業はDBO方式（設計・建設・運営を一括で委託）なので、事業者が設計段階からVEを織り込んで進めている。
契約金額の変更はない

【塵芥収集きずな事業】

- きずな収集に 1 億 4 0 0 0 万円。対象の 1 世帯当たり 17 万円/年
⇒収集コースの見直しで効率化。自治会やボランティアの協力も検討

07

主な質疑（商工費）

【手塚治虫生誕100周年記念事業】基礎調査・構想策定委託料 300万円

- 「マンガ・アニメの聖地化」の課題
 - ・ 作品を知らない世代
 - ⇒ ニーズ調査、認知度把握を行い、必要な施策を考える
 - ・ 2年間でコンテンツの仕込み
 - ⇒ 協議会を発足。若手職員、企業や事業所からも提案
 - ・ 観光消費の拡大
 - ⇒ 企画展コラボメニューの取組を全市的に展開
 - ・ 外部資金の獲得
 - ⇒ 県や近隣自治体とも連携し広域での集客めざす
- MICE誘致補助金 300万円
 - ・ 必要性 ⇒ 日帰り観光が9割。学会等の誘致で宿泊需要を増やす



08 主な質疑（土木費）

- 道路の老朽化が進んでいるのに維持補修費は減額
⇒生活道路を30年周期で修繕すると年間1億6000万円かかる（R5試算）。現在の補修予算は約7200万円
- 街路灯の耐用年数と、修理件数の見込み
⇒LED化されたものが大半で15年もつ。支柱は30年。
80件の修理を見込んで1100万円を計上
- 県財政が厳しく、起債許可団体に移行の見込み。影響は
⇒令和9年度以降は事業の選択と集中が予想される。

09

主な質疑（教育費）

【適正規模・適正配置・小中一貫】

- 光明小と未成小・・・統廃合を視野に意見聴取
中山台地区・・・小中一貫校へ
良元小と仁川小、光明小・未成小・高司小は模索
宝塚第一小・・・規模適正化へ周辺校を巻き込んだ検討
通学区域弾力運用の実績は18人

【部活動の地域移行】

- 保護者負担が月3000円から5000円にアップ
⇒ 経済的困窮家庭には国の補助メニューを活用して支援
- 24団体が調整中。プロジェクトチームで横断的に対応を
⇒ 学校教育課を中心に、管理部、社会教育部、学校教育部の各課が
プロジェクト的に対応
- 不足している種目は、卓球、吹奏楽、美術の分野

10 主な質疑（教育費）

【探究型学習推進事業（国際バカロレア教育）】

- I B校認定まで300万～400万円程度、認定後200万円/年程度かかる
⇒本市がめざすプログラムは想定している費用の範囲内で実施可

【宝塚ハーフマラソン大会】

- 予算が計上されていない
⇒物価高騰による運営費の増大、市街地コースの環境の変容、交通規制の配慮が困難、ボランティアの高齢化など課題が多い。実行委員会と課題について共通認識をもつ必要がある
- 令和7年度は1000万円計上（スポーツ振興くじ助成金640万円、市負担360万円）。補正予算を計上して8年度に実施する可能性は
⇒継続のために何ができるか考えたい。7年度の市負担は400万円以上

11 主な質疑（債務負担行為）

◆**債務負担行為**は、今年の予算だけでは払えないが、来年以降に払うお金を“あらかじめ議会が承認する”仕組み。

【市立温泉利用施設大規模改修負担金等】 2億6000万円

- 躯体の改修工事などのため10年間で2億6000万円と試算。年間2600万円の指定管理料を毎年払うのと変わらない印象。土地と建物を普通財産にするメリットも感じない。
 - ⇒令和3年度の試算では今後30年間に19億円の維持管理費用がかかると想定。
 - 普通財産化し賃貸借方式とすることで、民間事業の創意工夫や投資を生かしながら柔軟な事業展開が可能。
- 10年後さらに施設の改修が必要となった場合
 - ⇒業績が好調なら事業継続の可能性あり。修繕費等の負担をどうするかは再度検討が必要
- 修繕について、市が設計・施工すべき主要部分とはどこか
 - ⇒事業者と協議しながら確定していきたい。

現在、当局が事業者と協議中で、議会に提供される情報が判断に十分といえない状況。そこで、市は**債務負担行為を含む議案第1号を一旦取り下げ、当該部分を除いた議案第45号として再提出へ。**

12 討 論

【令和8年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費予算、 特別会計後期高齢者医療事業費予算】

● 反対討論・・・1名

- ・ 子育て支援金制度の開始により、保険税や保険料に上乗せする形で新たな負担が生じることが前提。
- ・ 自営業者や年金生活者、高齢者の生活への影響を懸念する。
- ・ 子育て支援の財源は国の責任において国庫負担で対応すべき。


13

審査結果

- 令和 8 年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費予算
令和 8 年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費予算
⇒ 賛成多数で可決
- 2 議案以外は、
⇒ 全員一致で可決

ご清聴ありがとうございました。

詳細資料は

で検索